

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	上下水道の整備			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	下水道課
	基本施策	インフラ整備プロジェクト	関係課名	下水道課
	施策コード	A-1-8	シート作成者名	寺尾 一紀

① 施策の現状と課題	<p><上水道> 本市の上水道は、今川からの取水と京築地区水道企業団からの受水で運営しており、平成23年度末で給水人口55,997人、普及率は77.6%となっています。今後は、公共下水道の普及や企業誘致による事業所の増加など水需要の増加が予測され、平成29年度完成予定の伊良原ダムを水源として、京築地区水道企業団からさらなる受水を予定しています。水質は、基準に適合していますが、近年の異常気象などにより貯水池に藻類の発生があるため、今後は高度浄水による臭気対策を行う必要があります。</p> <p>さらに、近年、たびたび濁水に見舞われているため、節水意識の啓発や多様な水資源の確保に向けての取組みも引き続き行っていく必要があります。</p> <p><下水道> 本市の下水道事業は平成5年度に着手し、平成14年3月28日の一部供用開始以降、供用区域の拡大を進めてきました。しかし、本市の下水道処理人口普及率は平成23年度末で15.9%と低い（全国平均は75.8%、福岡県の平均は77.4%）、今後も供用区域の拡大に努めなければなりません。</p> <p>また、供用区域の拡大に併せて、下水道への接続を促進しなければなりません。下水道への接続率を表す水洗化率は、平成23年度末時点で85.4%です。今後も継続して下水道事業のPR等啓発活動を積極的に進め、接続率の向上に努める必要があります。</p> <p>都市下水路や公共下水道雨水幹線についても、近年のゲリラ豪雨による浸水被害の頻度が上がっており、対策が必要です。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) : 安全でおいしい水の安定供給</p> <p>生活水の安定供給のため老朽化した浄水場施設の改修を行い、また活性炭施設を設置することで、安全でおいしい水の供給に努めます。</p>
	<p>主要施策名(2) : 有収率の向上</p> <p>有収率の向上のため、老朽化した配水管の布設替えを行い、給水量の確保に努めます。</p>
	<p>主要施策名(3) : アセットマネジメントの導入</p> <p>資産の状態に注目することで、投資・維持管理を適切にマネジメントし、収支バランスのとれた健全経営を実行し、水道利用者へのサービスの向上に努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) : 節水意識の高揚</p> <p>広報誌やホームページを活用し、節水意識の啓発も引き続き行っていき、限りある水資源を有効利用するためのPRを推進していきます。</p>
	<p>主要施策名(5) : 下水道供用区域の拡大・整備</p> <p>引き続き行事地区を中心に市街地における公共下水道の整備を計画的に進めるとともに、高密度市街地地区や早期水洗化希望地区等の市民ニーズを把握して、効率的に整備できる新たな地区の選定にも取り組みます。</p>
	<p>主要施策名(6) : 公共下水道・農業集落排水整備完了区域の接続推進</p> <p>豊かな自然環境を次世代につなげるため、整備完了区域内の各世帯の下水道等への接続を促進します。</p>
	<p>主要施策名(7) : 下水道事業経営の透明性の向上と情報公開</p> <p>下水道事業会計の法適用化を行うことにより、事業の経営状況が明確になり、多額の投資を必要とする下水道事業経営への住民理解が深まることが期待ができます。また、下水道使用料や受益者負担金の適正な賦課・徴収を行い、下水道事業経営の健全化に努めます。</p>
	<p>主要施策名(8) : 安全安心な居住環境の確保</p> <p>近年のゲリラ豪雨による浸水を防止するため、計画的に都市下水路や公共下水道雨水幹線の整備を進めます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績			目標値				達成度の説明 (H24年度)
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
目標指標	老朽管布設率(%)	30.2	29.1	28.0				24.0	配水管布設替工事実施の為
	有収率(%)	83.4	83.0	84.3				86.0	調査による漏水箇所修繕約60箇所
	下水道処理人口普及率(%)	15.2	15.9	17.2				22.0	整備面積：6.42ha (行橋地区：1.86ha、行事地区：4.56ha)
	水洗化率(%)	85.1	85.4	82.7				90.0	行事北団地及び新築等による処理可能世帯が増加したため
	下水道などによる生活排水の衛生的な処理に対する市民満足度(%)	25.5	-	-				45.0	市民満足度調査(アンケート等)未実施のため

⑤	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
			H23年度実績値	H24年度実績値	H25年度見込額	
1	都市下水路施設維持管理事業	都市下水路の維持管理を行う。	42,593	18,294	18,141	19
2	公共下水道使用料賦課徴収事務事業	公共下水道使用料の賦課・徴収事務を行う。	16,457	15,832	16,512	12
3	行事地区下水道推進協議会事業	推進協議会の運営事務を行う。	4,850	2,750	2,400	26
4	公共下水道処理場ポンプ場運転管理事業	公共下水道処理場及び中継ポンプ場の維持管理を行う。	110,846	110,569	128,598	20
5	公共下水道管渠維持管理事業	公共下水道管渠の維持管理を行う。	12,149	12,825	7,078	22
6	公共下水道受益者負担金賦課徴収事務事業	公共下水道の受益者負担金の賦課・徴収事務を行う。	11,951	14,540	13,979	17
7	公共下水道接続促進事業	公共下水道への接続率を向上させる。	5,600	3,186	4,905	13
8	公共下水道全体計画等変更事業	公共下水道事業を進めるために必要な計画の見直し、変更等を行う。	0	24,612	39,305	5
9	地方公営企業法適用化事業	平成27年度から地方公営企業法の適用化を目指す。	0	4,270	26,650	1
10	長寿命化計画策定事業	効率的かつ健全に公共下水道施設の更新を行うため、長寿命化計画を策定する。	0	36,650	29,300	2
11	公共下水道汚水管渠建設事業	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るため、幹線・管渠・公共ますを設置する。	436,381	316,750	613,166	7
12	公共下水道北部雨水幹線建設事業	北部雨水幹線の浸水被害を防ぐ。	12,285	18,842	58,957	6
13	公共下水道処理場建設事業	快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るため、処理場を整備する。	265,363	0	0	28
14	農業集落排水賦課徴収事業	農業集落排水の使用料及び受益者負担金の賦課・徴収事務を行う。	-	6,174	5,575	18
15	橋本地区農業集落排水推進協議会事業	推進協議会の運営事務を行う。	-	2,750	2,400	27
16	農業集落排水処理場運転管理事業	農業集落排水処理場及び中継ポンプ場の維持管理を行う。	-	32,061	33,274	21
17	農業集落排水施設整備事業	農村地域の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るため、公共ますを設置する。	-	2,655	2,750	14
18	配水設備事業	浄水場の改修工事や老朽管の布設替え工事を行い、水の安定供給に努める。	290,080	313,512	386,556	15
19	営業設備事業	水道メーター等の管理を行う。	22,273	22,371	21,999	16
20	第5次拡張事業	給水区域の拡張工事を行い、未普及地域の住民の生活環境の改善を図る。	33,935	72,851	93,976	25
21	石綿セメント管更新事業	石綿セメント管の布設替工事を行う。	109,770	0	0	29
22	高度浄水事業	矢留浄水場に活性炭施設を築造し、おいしい水の供給を行う。	208,876	6,083	1,002,967	4
23	老朽管更新事業	老朽管の布設替工事を行い、有収率の向上を図る。	77,535	83,970	69,280	23
24	重要給水施設配水管事業	災害時の避難施設等への安定的な給水の確保を図る。	0	59,095	69,010	24
25	浄水場維持管理事業	矢留浄水場・行橋浄水場の維持管理を行う。	207,377	215,362	216,010	8
26	浄水場運転管理事業	矢留浄水場・行橋浄水場の運転管理を行う。	107,734	109,865	110,775	9
27	給排水管維持管理事業	給配水管の維持管理を行う。	88,163	89,455	93,698	10
28	水道料金収納事務事業	水道使用料の収納事務を行う。	51,574	57,858	58,559	11
29	アセットマネジメント導入事業	アセットマネジメントの導入し、施設の更新・維持に係る収支計画を策定し健全な経営を目指す。	0	24,797	28,871	3
30						

<p>⑥</p> <p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>(主要部長の意見)</p>	<p><上水道></p> <p>高度浄水施設は平成25年度完成予定で、平成26年度からは、よりおいしい水の供給が可能となる。また、アセットマネジメントも平成26年度から導入でき、これをもとに老朽化した施設の更新計画を作成する。</p> <p><下水道></p> <p>行事地区の公共下水道整備を年度計画に沿って行い、普及率の向上を図る。併せて、雨水対策を行い、行事地区と南大橋地区の浸水防止を図っていく。また、下水道会計の経営の健全化及び経営基盤の強化を図るため、平成27年度から公営企業会計への移行を行う。</p>
--	--

<p>⑦</p> <p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>	<p>上水道については、今回の漏水調査により今後効率的な給水が期待できるが、一方で安全でおいしい水の安定した給水のためには配水管の老朽化対策とともに水源の確保が急務である。伊良原ダム completionにより受水量はUPするが、近年の渇水状況や異常気象を勘案すればダム以外の多様な水源の確保に向けての検討も必要ではないか。</p> <p>下水道事業については、普及率の向上に向けて、計画的かつ迅速に取り組んでいただきたい。合併処理浄化槽の整備や農業集落排水事業と組み合わせることによって、全体として遅れている生活排水対策を迅速に進めてほしい。</p> <p>また、近年のゲリラ豪雨による冠水被害が頻発しているため、早期解消に向けて都市下水路の整備拡張にも早急に取り組んでいただきたい。</p>
-------------------------------------	---

<p>⑧</p> <p>施策の最終方針</p> <p>(市長の意見)</p>	<p>上水道については、有収率の向上によって現有水源をより効率的に活用すると共に、水資源問題プロジェクトにおける検討結果を精査し、水資源の確保に努めたい。</p> <p>下水道については、計画的に事業を行い、供用区域の拡大を図りたい。</p> <p>また、雨水対策については現在、冠水被害がみられる箇所について具体的な計画を作成しており、早期の完成を目指したい。</p>
--	---